

環境目的と取り組み目標

2000年度については、単年度の環境目標(実行計画)を設定し取り組んでまいりましたが、2001年度以降については長期到達目標である環境目的と目的達成のための行動指針、2003年度迄の中期目標を策定し取り組んでまいります。

各部門、各事業所は行動指針、中期目標に従いより具体的目標設定を行い取り組んでいきます。これらは取り組みの状況や外部環境変化等により見直しを行います。

環境負荷低減

1 2010年度末までに廃棄物の最終処分量(事業所外へ排出されたもののうち焼却または埋立される量)を1999年度比で70%削減します。

《行動指針》
発生量の抑制。
再利用の推進。
減量の推進。
リサイクルの推進。

《目標》
2003年度末までに廃棄物の最終処分量を1999年度比で30%削減します。

《個別削減目標》
食品事業全体
総量：40%削減
動植物性残さ：50%削減
紙・段ボール類：50%削減
フロス・余剰汚泥：30%削減
上記以外は1999年度レベル以下へ

低温物流事業全体
総量：10%削減
木屑：30%削減
動植物性残さ：20%削減
紙・段ボール類：10%削減
上記以外は1999年度レベル以下へ

2 地球温暖化防止のため、出来る限りCO₂排出量削減に努めます。食品事業については、2010年度末までに生産t当りのCO₂排出量(電力、燃料由来)を1999年度比15%削減します。

《行動指針》
工程改善、システム改善、管理強化等による効率化。
温暖化への影響の小さい燃料への転換。
高効率設備、コージェネレーション導入推進。

《目標》
2003年度末までに生産t当りのCO₂排出量を1999年度比8%削減します(食品事業)。
物流における排出量の実態把握を実施します。

3 環境に配慮した商品の提供に努めます。

《行動指針》
省資源、廃棄物削減、リサイクル、安全等に配慮した商品の開発。
環境へ配慮し、安全性の高い原材料の生産、調達。

《目標》
容器包装材削減、素材変更等の環境負荷低減商品を販売します。
環境負荷に配慮した容器包装材、原材料の選定ガイドラインを検討、策定します。
商品設計等へのLCA手法の活用を検討します。

4 環境への影響の大きい関連化学物質に適切に対応します。

《行動指針》
適正管理、必要であれば迅速処理を行い環境への影響を最小限に抑える。

《目標》
低温物流関連事業所所有の焼却炉について2001年度中に使用停止します。
加工食品事業関連焼却炉についても使用停止の方向で検討、計画策定します。
PCBの適正保管管理徹底と処理計画を検討します。
オゾン層の破壊の可能性の低い冷蔵・冷凍システムの検証をします。また、廃棄時フロンへの適正処理徹底を図ります。

5 本社・支社等オフィスにおいても環境保全に積極的に取り組みます。

《行動指針》
循環型社会形成への一助としてグリーン購入を推進。
省資源、省エネルギー、廃棄物削減・リサイクル活動の推進。

《目標》
グリーン購入ガイドラインの充実、啓蒙活動、及びグリーン購入を行います。
廃棄物削減・リサイクル、省エネルギーに関する啓蒙活動を行います。

環境マネジメントシステム構築

6 各事業所において環境マネジメントシステムを構築し、各事業所ごとの個別重要課題に的確に対応するとともに、継続的改善を図ってまいります。

《行動指針》
環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証取得、またはこれに準拠したシステムの構築。

《目標》
2003年度末までに5事業所《㈱ニチレイフーズ高槻工場・関西日冷㈱高槻事業所、㈱ニチレイフーズ博多工場、㈱白石ニチレイフーズ、㈱長崎ニチレイフーズ、梅町マルイチ加工㈱》で認証取得します。
未計画の主要食品工場についても環境マネジメントシステム定着、取得計画の策定を行います。
(主要食品工場：原則年間生産t数3,000t以上の工場)

環境法規遵守

7 遵法性を常に確認するとともに、新規規制等にも迅速に対応します。

《行動指針》
監査、自己チェック等により遵法性を定期的にチェック。
法改正、新規規制情報を確実に入手し、迅速に対応。

《目標》
各事業所での環境マネジメント構築等による自己チェック機能を強化します。
監査室による社内監査時の主要環境法規チェックを実施します。
法改正、新規規制情報に関するコミュニケーションを強化します。

用語解説

コージェネレーション
1つのエネルギー源から電気と熱など複数の有効なエネルギーを取り出して利用するシステム。

PCB
有機塩素化合物であるポリ塩化ビフェニールの略。不燃性、絶縁性にすぐれていた為、熱媒体、絶縁油、塗料等に使用されていた。1968年に「カネミ油症事件」がおき、その毒性の強さが問題となった為、1972年に製造は中止された。安定性が高く自然環境や生物の体内で分解されず蓄積しやすい。

フロン
化学的に非常に安定していて、冷蔵庫、カーエアコン等の冷媒などに広く使われている。フロンそのものは無毒であるが、オゾン層を破壊する。その結果、紫外線の地上への到達量が増加することにより、皮膚ガンの増加や生態系への悪影響をもたらすといわれている。

用語解説

循環型社会
有限な資源やエネルギーを繰り返し使用することで、環境への負荷を出来るだけ少なくする社会のこと。

グリーン購入
商品やサービスを購入する際に、価格・機能・品質等だけでなく「環境」の視点を重視し、環境負荷のできるだけ小さいものを選択、優先的に購入すること。

環境マネジメントシステム
企業が活動において、どのような影響を環境に与えているかを評価、分析し、その上で継続的に改善を行っているシステムのこと。ISO14001はその仕組みのひとつ。